

## 報告事項 1

# 令和 3 年度事業計画

### 概要

新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで続くのかは正直見通すことはできませんが、観光需要の回復に向けて様々な準備を進めてまいります。

#### 1. 観光客誘客事業

今年度 10～12 月に 4 年ぶりとなる四国デスティネーションキャンペーン「しあわせぐるり、しこくるり。」が開催されます。これは JR グループ 6 社、地方自治体、観光関連団体が一体となって実施する、国内最大級の大型観光キャンペーンです。期間中は旅行代理店・JR などによるアピール力のある商品造成と集中的な宣伝による集客が期待されます。なお昨年の復路フェリー無料キャンペーンのような小豆島独自の誘客策が実施される場合は、昨年同様に事務局機能を受け持つ予定です。また観光庁等への公募・補助金に積極的に応募するなどして、予算獲得をしつつの誘客策を模索いたします。

#### 2. 地域限定旅行業の開始

昨年の旅行業取扱管理者試験で合格者ができましたので、総会にて定款の変更が承認された後、地域限定旅行業を開始いたします。既存の観光地を巡るツアーに加え、アドベンチャーツーリズム※を旗印にトレッキングツアー、山岳霊場ツアー、醤油蔵巡りツアーなどこれまでにない新しい切り口のツアーを造成し、誘客に務めます。

そのためにはガイド養成が大変重要となっており、インバウンド復活に備えた英語ツアーガイドとトレッキングガイドを募集し、若干名ずつ養成いたします。

また、環境省が推進するエコツーリズムに則ったエコツーリズム推進協議会を立ち上げ、「小豆島のツアーは SDGs を重視し、環境に負荷をかけない」ことを PR します。

公式ホームページもツアー予約・決済ができるように更新いたします。将来的に小豆島へのツアーの受託販売もできるよう準備をするとともに、現行の情報ページもより集客に直結するような内容に変更していきます。

※アドベンチャーツーリズムとは「アクティビティ、自然、文化体験の 3 要素のうち、2 つ以上で構成される旅行」をいいます。

#### 3. フィルム・コミッション事業

新型コロナウイルス感染症の影響にもよりますが、この事業は短期的な効果ではなく、長期的に小豆島の魅力を多くの人に伝えていくために大変重要な事業です。関係する皆様の尽力により、小豆島島民の積極的なエキストラ協力、魅力的なロケ地提供は邦画制作担当者には評

判となっており、引き続き誘致活動を進めてまいります。

#### 4. 視察や研修等の受け入れ

前期はコロナウイルス感染症の影響のため残念ながら視察・研修受入はありませんでしたが、フィルム・コミッション同様長期的な小豆島のファンを増やすためにも、今後も積極的な受け入れを続けていきます。

#### 5. 勉強会・セミナーの実施

環境の激変に伴い、SNS 等を活用した施設・店舗からの情報発信スキルがさらに重視されるようになってきています。SNS や動画を使った新たな PR 手法、さらにオンラインミーティングなど新しいツールの勉強会を主に会員向けに実施します。なお、まるごと小豆島については大人数を集めて講演会を行うことが困難な状況のため当面はお休みとし、コロナウイルス感染症の状況が好転した時点で再開を検討いたします。

#### 6. インバウンド環境整備

前期 YOKOSO SHODOSHIMA からリニューアルし 10 月に開始したおもてなし英会話はおかげさまで大変好評をいただいております。今期はクラスを増やし難易度別のクラス分けも行い、継続してまいります。また、来期の瀬戸内国際芸術祭開催に向けて外国語の受入環境整備について検討を進めます。

#### 7. 広域連携事業の推進

香川県観光協会、香川県観光振興課、四国運輸局、JR 四国、四国ツーリズム創造機構、せとうち DMO など島外の団体と情報交換を密にし、連携して小豆島への誘客を推進していきます。2019 年 5 月に日本遺産に認定された「石の島」についても 2 市 2 町と連携を取りながら誘客・PR を図っていきます。